

## 「ア」～「ク」取組状況調査票

(平成30年4月現在)【様式2】

伊那市

事業名	事業概要	取組状況	具体的な取り組み・課題等
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	①地域の医療機関、介護事業所等の情報収集②地域の医療・介護資源のリスト又はマップ作成と活用	○	マップ作りは終了。 今後は活用する中で医療機関情報を収集し修正していく。
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・在宅医療・介護連携の課題を抽出し、抽出された課題の対応策について、医療・介護関係者の参画する会議等により対応案等について検討	○	在宅医療・介護連携推進協議会にて検討された課題を集約し、課題達成に向けた検討を行う 小委員会 2回開催 協議会年3回開催
(ウ)切れ目の無い在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制構築に向けて、必要な具体的取り組みを企画・立案	○	在宅医療・介護連携推進協議会にてシームレスな連携について課題抽出・対策等の検討を行う
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	①情報共有ツールの作成②情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握(入退院連携ルール)	○	入退院ルールに基づき事例検討を行いながら課題抽出を行う
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	①在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等③地域包括支援センターとの連携	○	在宅医療と介護の連携相談支援室を伊那市役所地域包括支援センター内に設置した。診療所・事業所等から出された課題を集約し、連携に向けた支援を行う。顔の見える関係づくり、研修会等の開催を行う
(カ)医療・介護関係者の研修	①多職種連携についてのグループワーク等の研修②地域の医療・介護関係者に対する研修	○	多職種連携研修会や必要な職種会の開催を行い、連携に関する支援を行う
(キ)地域住民への普及啓発	①在宅医療や介護に関する講演会等の開催②啓発パンフレットの作成・配布等	○	市民が安心して地域で生活できるよう、地域での取り組みや様々なサービス、または住民同士の支え合い等についてHP・ケーブルテレビ・市報などで市民啓発を行う
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	・複数の関係市町村が協力して、共通の情報共有の方法等、広域連携が必要な事項について地域の実情に応じて検討	○	上伊那地域在宅医療・介護連携推進事業研究会への参加 協議

○やっている ×これから △判断に迷う

「ア」～「ク」取組状況調査票

(平成30年4月現在)【様式2】

駒ヶ根市

事業名	事業概要	取組状況	具体的な取り組み・課題等
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	①地域の医療機関、介護事業所等の情報収集②地域の医療・介護資源のリスト又はマップ作成と活用	○	
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・在宅医療・介護連携の課題を抽出し、抽出された課題の対応策について、医療・介護関係者の参画する会議等により対応案等について検討	○	
(ウ)切れ目の無い在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制構築に向けて、必要な具体的取り組みを企画・立案	△	
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	①情報共有ツールの作成②情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握(入退院連携ルール)	△	
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	①在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等③地域包括支援センターとの連携	○	
(カ)医療・介護関係者の研修	①多職種連携についてのグループワーク等の研修②地域の医療・介護関係者に対する研修	○	
(キ)地域住民への普及啓発	①在宅医療や介護に関する講演会等の開催②啓発パンフレットの作成・配布等	×	
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	・複数の関係市町村が協力して、共通の情報共有の方法等、広域連携が必要な事項について地域の実情に応じて検討	○	

○やっている ×これから △判断に迷う

「ア」～「ク」取組状況調査票

(平成30年4月現在)【様式2】

辰野町

事業名	事業概要	取組状況	具体的な取り組み・課題等
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	①地域の医療機関、介護事業所等の情報収集②地域の医療・介護資源のリスト又はマップ作成と活用	○	①辰野町独自の医療・介護社会資源調査の実施(28年12月) ②上伊那広域連合統一の社会資源調査実施(29年9月)、未回収の機関あり。 ③介護予防手帳に医療事業所地図を掲載
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・在宅医療・介護連携の課題を抽出し、抽出された課題の対応策について、医療・介護関係者の参画する会議等により対応案等について検討	○	医療・介護連携に必要な情報についてのグループワークを行い、顔の見える関係づくりの実施(28年12月4日)
(ウ)切れ目の無い在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制構築に向けて、必要な具体的取り組みを企画・立案	○	上伊那広域連合の「入退院時連携ルール」づくりに参加
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	①情報共有ツールの作成②情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握(入退院連携ルール)	○	トリニティケアクラウドを利用した情報共有ツール(医療・介護事業所)の活用。 システムの運用が出来ていない現状。各機関に再度説明会を行うなど対応を検討。
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	①在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等③地域包括支援センターとの連携	×	検討中。
(カ)医療・介護関係者の研修	①多職種連携についてのグループワーク等の研修②地域の医療・介護関係者に対する研修	○	H28年12月4日「辰野町医療・介護連携推進会議」開催 研修会「在宅医療・介護連携推進について」県介護支援課 H29年1月30日「辰野町在宅医療・介護連携推進講演会」開催。
(キ)地域住民への普及啓発	①在宅医療や介護に関する講演会等の開催②啓発パンフレットの作成・配布等	△	地域包括ケアシステムの構築に関する住民対象の研修を行ったが、(キ)に該当するか判断に迷う。
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	・複数の関係市町村が協力して、共通の情報共有の方法等、広域連携が必要な事項について地域の実情に応じて検討	○	上伊那地域包括ケアシステム研究会への参加

○やっている ×これから △判断に迷う

「ア」～「ク」取組状況調査票

(平成30年4月現在)【様式2】

箕輪町

事業名	事業概要	取組状況	具体的な取り組み・課題等
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	①地域の医療機関、介護事業所等の情報収集②地域の医療・介護資源のリスト又はマップ作成と活用	○	各機関へのアンケートによる資源調査を終了。集まった情報からパンフレットを作製。パンフレットは基本情報を掲載した一般向けパンフレット(作成済み)と、具体的な取扱い業務内容を掲載した関係者向けパンフレットを作成。
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・在宅医療・介護連携の課題を抽出し、抽出された課題の対応策について、医療・介護関係者の参画する会議等により対応案等について検討	○	「医療と介護の連携検討会」設置済み。年2回程度会議開催。ア～クの進捗状況についても検討している。
(ウ)切れ目の無い在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制構築に向けて、必要な具体的取り組みを企画・立案	○	二次医療圏域による入退院時連携ルール(案)の作成。
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	①情報共有ツールの作成②情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握(入退院連携ルール)	○	①お薬手帳の活用の普及、入退院時の情報提供項目の見直し、連携連絡票の活用についての検討 ②入退院連携ルールの検討(二次医療圏域)
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	①在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等③地域包括支援センターとの連携	△	連携支援センター(名称未定)を包括支援センター内に設置予定。
(カ)医療・介護関係者の研修	①多職種連携についてのグループワーク等の研修②地域の医療・介護関係者に対する研修	○	①多職種参加型事例検討会開催。 ②入院医療機関、かかりつけ医療機関、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等に所属する看護職員に対して、在宅療養支援に関する研修を実施。
(キ)地域住民への普及啓発	①在宅医療や介護に関する講演会等の開催②啓発パンフレットの作成・配布等	○	①町民および専門職を対象としたシンポジウムを開催。②啓発パンフレット作製。
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	・複数の関係市町村が協力して、共通の情報共有の方法等、広域連携が必要な事項について地域の実情に応じて検討	○	在宅医療・介護連携推進研究会(上伊那圏域)へ参加し、上伊那圏域にて調整を連携を図っている。

○やっている ×これから △判断に迷う

「ア」～「ク」取組状況調査票

(平成30年4月現在)【様式2】

飯島町

事業名	事業概要	取組状況	具体的な取り組み・課題等
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	①地域の医療機関、介護事業所等の情報収集②地域の医療・介護資源のリスト又はマップ作成と活用	○	各機関への調査は終了。「ア」の様式への記入を進めている。
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・在宅医療・介護連携の課題を抽出し、抽出された課題の対応策について、医療・介護関係者の参画する会議等により対応案等について検討	×	今後実施予定。
(ウ)切れ目の無い在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制構築に向けて、必要な具体的取り組みを企画・立案	○	広域連合による入退院連携ルールの検討。町独自の取組みはできていない。
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	①情報共有ツールの作成②情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握(入退院連携ルール)	○	広域連合による入退院連携ルールの検討。
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	①在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等③地域包括支援センターとの連携	△	
(カ)医療・介護関係者の研修	①多職種連携についてのグループワーク等の研修②地域の医療・介護関係者に対する研修	×	
(キ)地域住民への普及啓発	①在宅医療や介護に関する講演会等の開催②啓発パンフレットの作成・配布等	×	
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	・複数の関係市町村が協力して、共通の情報共有の方法等、広域連携が必要な事項について地域の実情に応じて検討	○	在宅医療・介護連携推進研究会への参加

○やっている ×これから △判断に迷う

「ア」～「ク」取組状況調査票

(平成30年4月現在)【様式2】

南箕輪村

事業名	事業概要	取組状況	具体的な取り組み・課題等
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	①地域の医療機関、介護事業所等の情報収集②地域の医療・介護資源のリスト又はマップ作成と活用	×	村内の医療機関・介護事業所の医療対応度の調査について、5月中に開始し7月中に取りまとめる。
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・在宅医療・介護連携の課題を抽出し、抽出された課題の対応策について、医療・介護関係者の参画する会議等により対応案等について検討	×	平成30年度の事業所連絡会の一環として、事例をもとにグループワークを行い、課題を抽出する。
(ウ)切れ目の無い在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制構築に向けて、必要な具体的取り組みを企画・立案	○	入退院ルールを作成し稼働させたことで、切れ目のないサービスの提供につなげる。
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	①情報共有ツールの作成②情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握(入退院連携ルール)	○	入退院連携ルールを作成し、使用する様式の統一を行った。
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	①在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等③地域包括支援センターとの連携	○	医療・介護に関する相談は庁内にある地域包括支援センターで受けている。
(カ)医療・介護関係者の研修	①多職種連携についてのグループワーク等の研修②地域の医療・介護関係者に対する研修	○	医療に関する住民、介護事業所を対象とした公開講座を実施している。
(キ)地域住民への普及啓発	①在宅医療や介護に関する講演会等の開催②啓発パンフレットの作成・配布等	○	出前講座の際、かかりつけ医、かかりつけ薬局を持つことや、在宅医療に関するパンフレットを配布し、説明している。
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	・複数の関係市町村が協力して、共通の情報共有の方法等、広域連携が必要な事項について地域の実情に応じて検討	○	広域連合が行う会議において、入退院ルールの作成、検証と、他市町村との情報交換を行っている。

○やっている ×これから △判断に迷う

「ア」～「ク」取組状況調査票

(平成30年4月現在)【様式2】

中川村

事業名	事業概要	取組状況	具体的な取り組み・課題等
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	①地域の医療機関、介護事業所等の情報収集②地域の医療・介護資源のリスト又はマップ作成と活用	○	
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・在宅医療・介護連携の課題を抽出し、抽出された課題の対応策について、医療・介護関係者の参画する会議等により対応案等について検討	×	
(ウ)切れ目の無い在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制構築に向けて、必要な具体的取り組みを企画・立案	×	
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	①情報共有ツールの作成②情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握(入退院連携ルール)	○	
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	①在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等③地域包括支援センターとの連携	△	
(カ)医療・介護関係者の研修	①多職種連携についてのグループワーク等の研修②地域の医療・介護関係者に対する研修	△	
(キ)地域住民への普及啓発	①在宅医療や介護に関する講演会等の開催②啓発パンフレットの作成・配布等	×	
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	・複数の関係市町村が協力して、共通の情報共有の方法等、広域連携が必要な事項について地域の実情に応じて検討	○	

○やっている ×これから △判断に迷う

「ア」～「ク」取組状況調査票

(平成30年4月現在)【様式2】

宮田村

事業名	事業概要	取組状況	具体的な取り組み・課題等
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	①地域の医療機関、介護事業所等の情報収集②地域の医療・介護資源のリスト又はマップ作成と活用	△	①は実施 ②は未実施
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・在宅医療・介護連携の課題を抽出し、抽出された課題の対応策について、医療・介護関係者の参画する会議等により対応案等について検討	×	30年度に会議の開催を計画している。会議の中で課題抽出、対応策の検討を行っていく予定。
(ウ)切れ目の無い在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制構築に向けて、必要な具体的取り組みを企画・立案	×	上記の会議にて、検討する予定。
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	①情報共有ツールの作成②情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握(入退院連携ルール)	△	広域で検討予定。
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	①在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等③地域包括支援センターとの連携	×	①②③ともに包括で対応。
(カ)医療・介護関係者の研修	①多職種連携についてのグループワーク等の研修②地域の医療・介護関係者に対する研修	×	①30年度介護保険事業所連絡会にて検討予定。 ②広域で実施予定。
(キ)地域住民への普及啓発	①在宅医療や介護に関する講演会等の開催②啓発パンフレットの作成・配布等	×	①広域での開催を希望
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	・複数の関係市町村が協力して、共通の情報共有の方法等、広域連携が必要な事項について地域の実情に応じて検討	○	上伊那地域在宅医療・介護連携推進事業研究会への参加 認知症に関して、伊南4市町村にて実施。

○やっている ×これから △判断に迷う